

# IMFの機能と役割



国際通貨基金  
アジア太平洋地域事務所  
有吉 章

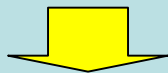
# IMF の設立

- 1944年7月： ブレトンウッズ会議
  - IMF設立協定が合意
- 1946年： IMF 設立 (本部ワシントンDC)
- 1947年： 業務開始
- 1952年8月： 日本が加盟
- 1992年： 旧ソ連の各国がIMFに加盟

# ブレトン・ウッズ体制

## 金本位制の崩壊

- 貿易為替規制
- 競争的為替切り下げ
- 経済のブロック化



- 貿易の減少
- 経済の縮小
- 経済摩擦・戦争



## 多角的な自由貿易体制

- **GATT (ITO)**
  - 貿易の自由化
- **IMF**
  - 為替規制の撤廃(短期資本移動は規制)
  - 為替相場の安定
- **世界銀行**
  - 成長のための長期資本

# IMFの役割 (IMF協定)

- 国際通貨協力のための(常設の)機構
- 貿易等の經常取引にかかる為替規制の撤廃
- 為替レート of 安定と適切な為替相場政策の監視
- 国際収支調整を円滑化するための一時的な外貨融資

# IMFの実際の業務

- サーベイランス
  - 4条協議(加盟国の経済状況、政策のチェック)を通じた個別国のマクロ政策、為替政策の審査
  - 世界経済の状況の議論と世界経済報告の公表等を通じた政策合意の形成
- 融資
  - 国際収支が困難になった国に対する支援
- 技術協力
  - 財政金融政策の執行のための途上国の能力強化を目的とした知的支援
- 国際通貨制度の改善を議論し、IMFの機能・業務を改善する

# 国際機関のタイプ

(国連等)

加盟国間の合議  
のフォーラム

(議論を手助け)

事務局

(世銀等)

加盟国の協定により  
目的・業務を設定

(加盟国代表  
による監督)

執行機関

IMF

(加盟国は出資に応じた投票権)

# IMFの組織

総務会  
(株主総会)

国際通貨金融委員会

専務理事(議長)  
理事会(取締役会)

地域局  
[アジア太平洋、  
アフリカ、欧州等]

機能局  
[政策企画審査、財政、  
金融資本市場、法律等]

内部管理等  
[人事、施設、広報等]

# 国際通貨制度の変遷とIMFの役割

- 創設時～1971年

## 金ドル本位制

- 各国はドルに対し固定平価(1 \$ = ¥360等)を設定(ドルは金に対する固定平価(1  $\text{オンス}$  = \$ 35)を設定し金との交換性を維持)
- 固定平価を維持できるようにIMFが一時的に国際収支の赤字が生じた国を支援
- 基礎的な国際収支の不均衡がある場合はIMFの承認を得て平価を変更(為替を切上げ、切り下げ)
- 經常取引の自由化を推進(戦後における経過的な規制の段階的撤廃)[自由化を完了するといわゆるIMF8条国となる=日本は1964年に8条国に移行]

- ブレトンウッズ体制の崩壊(1971年)
  - 世界経済が成長すると国際通貨としてのドルの需要が増え、その結果ドルの発行残高が米国の保有する金の量に比べ大幅に増大(ドルの信認低下)
  - ドルを補完するIMFが発行する国際通貨(SDR)創設の試み(1969年:IMF協定改正)
  - 金ドル交換性停止(1971年)、各国は固定相場を放棄
  - 新たな平価の設定の試み(スミソニアン合意)とその失敗を経て、一般的な変動相場制に移行
  - 第二次協定改正(1978年)により為替制度の選択の自由が明定
  - ドルは引続き事実上の国際通貨

- ドル以外の通貨の台頭と国際金融資本市場の発展
  - － 先進国における資本取引の自由化の進展
    - マルク、円等が国際通貨に(G5/G7体制)
    - 先進国間の為替レート的大幅な変動
    - IMFのサーベイランスの役割が重要に
- 累積債務問題の発生(1980年代～)
  - － 民間銀行による対途上国政府への貸し出し拡大(当初はオイルマネーの還流)
    - 過剰な累積債務の返済が困難に
    - IMFの主導により、債務国の経済調整政策と民間銀行融資等のリスクを実施

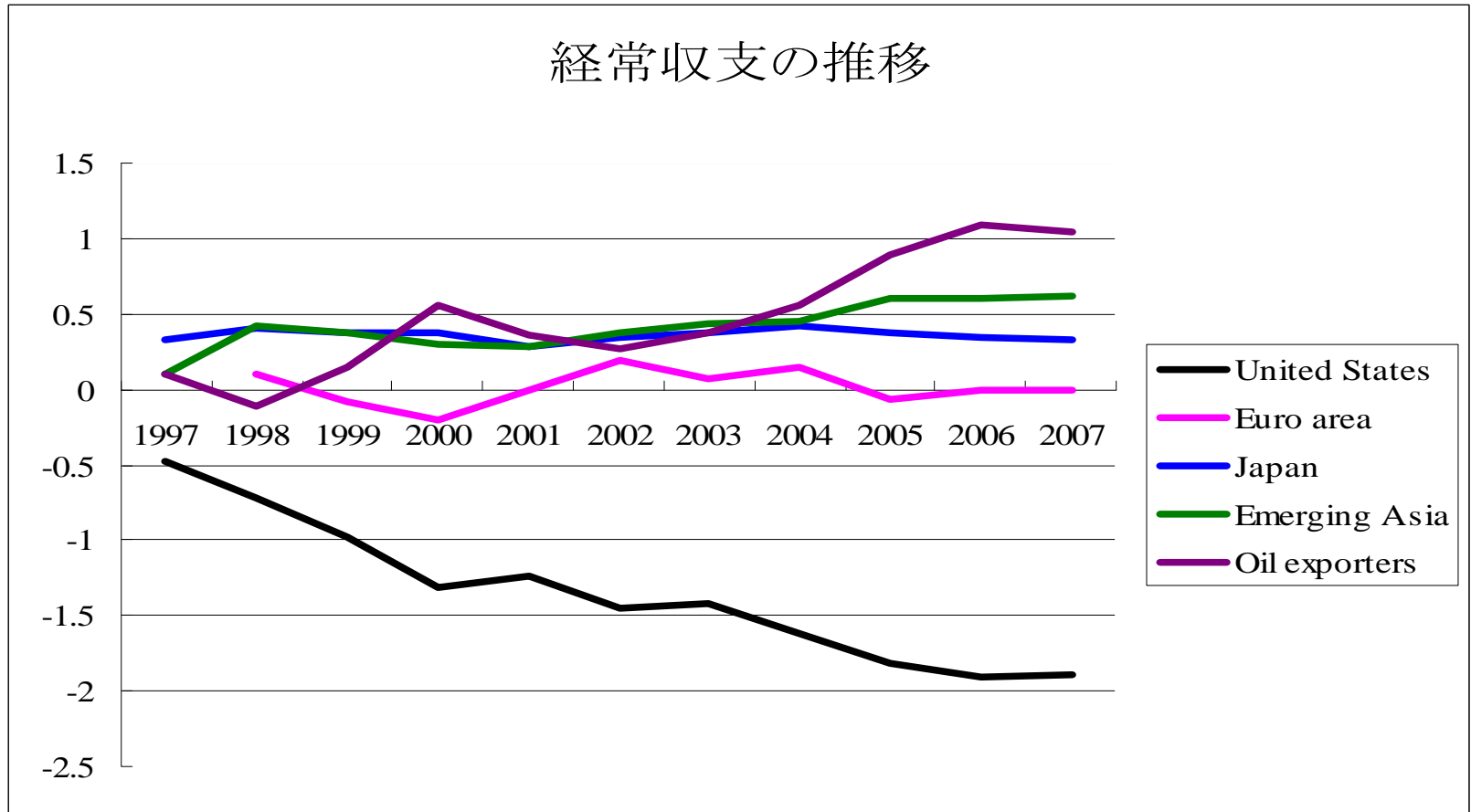
- 国際資本移動の拡大と新たな危機の発生
  - 国際資本が大量・急激に移動
  - 民・民間の多様な資金の流れ
  - メキシコ(92年)、アジア(97年)、ロシア・ラテンアメリカ(98年)の通貨金融危機
  
- 新興市場国の台頭
  - 国際的な不均衡の中でアジアの新興国、産油国が大きなプレイヤーに
  - 新興市場国が世界経済を牽引

# IMFの直面する課題

- グローバル化した世界経済の中で、いかに国際的な通貨金融取引の安定を維持するか
  - 国際的な政策協調の確保（サーベイランスの強化）
  - 危機に対する対応強化
  - IMFに対する信任の回復強化
    - 代表権、発言権

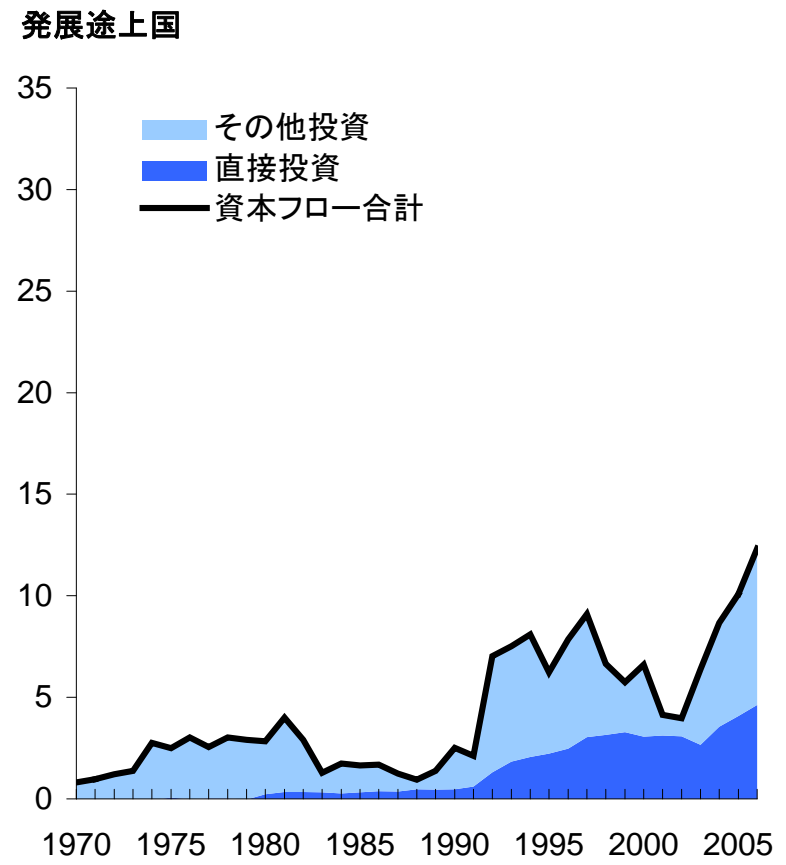
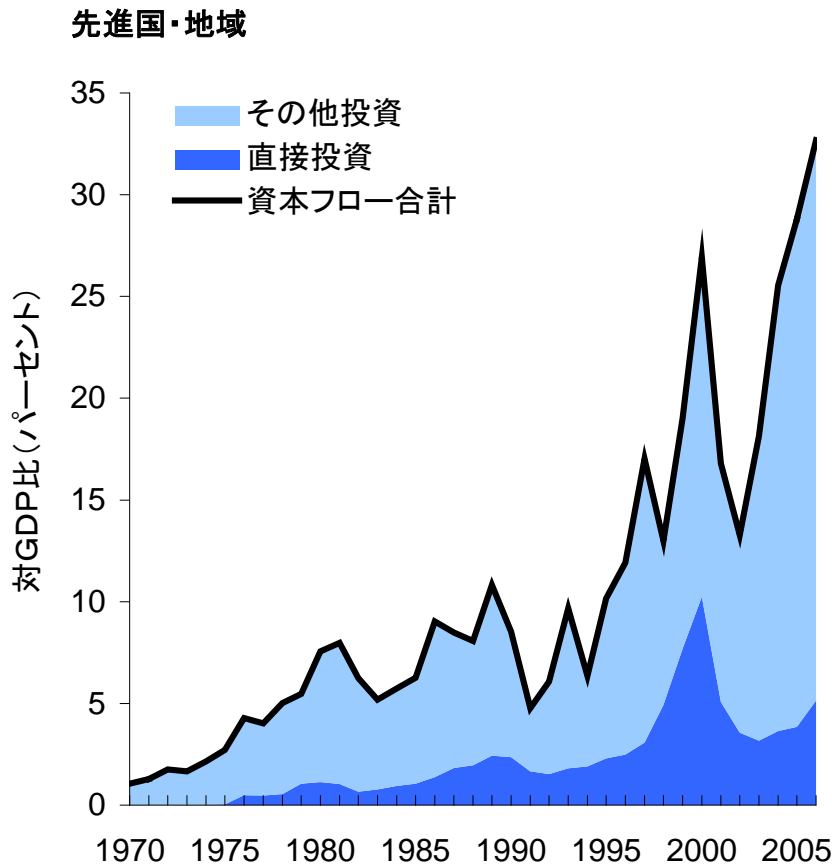
# 最近の課題(1): サーベイランス

## ● 国際的不均衡への対応



# 最近の課題(2): 資本収支危機への対応

## 資本移動の規模は急拡大



資料: WEOデータベース(2007年10月)

注: 資本流入・流出合計の各地域のGDP合計に対する割合

# 最近の課題(3): 代表権と発言権

## 出資割合の見直し～機関としての正当性維持

順位	1945	1952	1970	1990	2001
1	米	米	米	米	米
2	英	英	英	日	日
3	中	中	独	独	独
4	仏	仏	仏	英	英
5	印	印	日	仏	仏
6	加	独	加	サウジ	サウジ
7	蘭	加	伊	伊	伊
8	白	蘭	印	加	加
9	南ア	日	蘭	蘭	中
10	墨	白	白	中	露

増資後 順位	クォータ順位		GDP順位	GDP比
1	1	米	1	30.4
2	2	日	2	11.8
3	3	独	3	6.6
4	4	英	4	5.0
5	5	仏	5	4.8
7	6	サウジ	25	3.9
8	7	伊	7	0.6
9	8	加	9	4.5
6	9	中	6	2.4
10	10	露	16	1.2
13	13	印	12	1.6
18	16	伯	14	1.4
16	18	墨	10	1.8
19	28	韓	11	1.7
39	37	泰	32	0.4
36	41	土	21	0.7